

たまや~

保健だより

7月号
大和こども園

園庭のアジサイが満開となりとてもきれいです。色とりどりのアジサイを見ていると梅雨のジメジメ気分が少し和らぎます。湿度が高いと屋内外問わず熱中症の危険性があります。少量の水分をこまめに取って予防を行いましょ

(病気に気を付けよう)

保護者の皆様から問い合わせのある病気についてご紹介します。

《水いぼ》

原因: 水いぼのウイルスに感染している人と接触またはタオルの共有で感染します。

症状: 5mmほどの硬いいぼが体のいたるところにできます。ある程度大きくなるとつぶれて、他の部位にできます。軽度かゆみがあります。

治療: 自然に治る場合が多いです。取ることもできます。その場合は皮膚科または小児科の医師に相談ください。

注意点: 水いぼがあってもプールや水遊び、泥んこ遊びはできます。しかし、つぶれてしん質液が出ている場合は行えません。

登園基準: 登園できます。



いぼは集団で
できます。

《あせも》

原因: 皮膚の汚れが汗腺をふさいで炎症を起こします。

症状: かゆみを伴う赤い湿疹ができ広がります。

治療: 自然に治るのは難しいため、小児科または皮膚科受診をお願いします。

注意点

- あせもになりやすい部分は背中、関節、頭、鼻の頭など汗が出やすく蒸れやすい場所です。
- 毎日シャワーやお風呂に入り、皮膚を清潔にしましょう。あせもがひどい場合は石鹸を付けずに汗や汚れを流す程度で終わりましょう。(石鹸を使用すると症状が悪化することがあります)
- 皮膚をサラサラにするためにシッカロールを使用する方がいますが、汗腺がふさがる原因になります。

登園基準: 登園できます。

《とびひ》

原因: 虫刺されでかきむしったところやけがをした部分に菌が付着して起こります。

症状: 菌が付着した部分に水泡ができつぶれてジュクジュクになります。しん質液が他の部位に着くと新しいジュクジュクができます。それが体中にできます。数日で全身に広がります。

治療: 自然に治るのは難しいため、小児科または皮膚科受診をお願いします。

注意点: とびひになると水遊びや、プール遊び、泥んこ遊びなどはできません。また、他の子ども達に感染する恐れがあるので、とびひの部分をガーゼで覆って登園をお願いします。

登園基準: 患部がガーゼで覆ってあれば登園可能です。

日常生活で心掛けること

- 患部をかきむしらない**
日頃から爪が伸びていないかチェックしましょう。
- 肌を清潔にする**
原因となる菌を肌に増やさないために毎日お風呂に入ったりシャワーをして清潔を保ちましょう。(汗や肌の古い角質が菌のえさとなって増殖につながります。)
- 家族同士でもタオル(バスタオル)の共有をしない**
タオル(バスタオル)の共有でうつることがあります。



かさぶたが
かゆい

年長組保護者の方への予防接種のお願い

年長児は麻疹・風疹のワクチンの2回目の接種の時期です。無料の期間は令和3年3月31日までです。令和3年4月1日からは自己負担となります。新型コロナウイルスの第2波やインフルエンザの感染時期に入ると予防接種ができない場合があります。冬までに接種を終了できるようにお願いいたします。麻疹・風疹から子ども達を守るために必要な予防接種なので必ず行いましょう。なお、8月下旬に麻疹・風疹のワクチン接種の有無について調査を行います。ご協力をお願いします。

